



こんなときには AED!!



反応がない



普段どおりの呼吸がない



脈拍なし
(熟練救助者のみ)



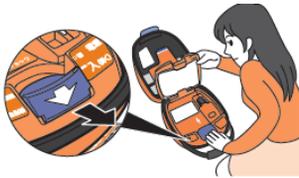
事前確認 オートショックAEDであることをロゴマークで確認



STEP

1

フタを開けると、電源ON



電源 ON

電源スイッチを手前に引いてフタを開ける

フタを開けると電源が入り100回/分の動作音が始まります。

Pu Pu Pu...



「このAEDは自動で電気ショックをおこないます。」



「小学生～大人モードです。」
「反応がないこと、呼吸がないことを確認してください。」



未就学児を救助する場合

モード切換えスイッチを未就学児モードに切換え



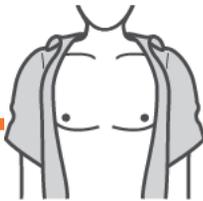
STEP

2

患者さんに使い捨てパッドを貼る



「胸を裸にして、AEDのフタから四角い袋を取り出してください。」



「袋を破いて、パッドを取り出してください。」



「パッドを青いシートからはがして、図のように右胸と左わき腹に貼ってください。」



パッドを貼ると、自動的に心電図の解析を開始します。AEDの音声ガイドに従ってください。



「体にさわらないでください。」
「心電図を調べています。体にさわらないでください。」

STEP

3

患者さんから離れる

3、2、1のカウントダウン後、自動で電気ショック実施

電気ショックが必要な心電図の場合



「電気ショックが必要です。」
「充電しています。」
「自動で電気ショックを行います。離れてください。」



「3、2、1」
「電気ショックを行いました。」

電気ショックが不要な心電図の場合



「電気ショックは必要ありません」



「体にさわっても大丈夫です」
「直ちに胸骨圧迫と人工呼吸を始めてください」
人工呼吸の訓練を受けており、技術と意思があれば胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を交互に2分間行います。

傷病者に普段どおりの呼吸が戻った場合は、身体を横向きにして救急隊員の到着を待ちます。
(電極パッドは貼ったまま、AEDのフタは開けたままにしてください。)



※救命に使用した後は使用済みの使い捨てパッドの粘着面どうしを接着しないでください。

救命の手順

JRC蘇生ガイドライン2020

1 周りの安全の確認



2 肩を叩いて反応がないことの確認



3 助けを呼ぶ



4 普段どおりの呼吸がないことの確認

胸と腹部の動きを見て呼吸を確認します(10秒以内)
※わからない時は胸骨圧迫を開始



5 胸骨圧迫

胸が約5cm沈む程度の強さで、1分間に100回から120回のテンポで押します



※技術と意思があれば胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返す

6 自動電気ショックを待つ

体から離れてください



救急隊に引き継ぐまで心肺蘇生を続けましょう

AED使い方動画のご案内



QRコードよりスムーズにご視聴いただけます



日本光電 AED情報サイトより



日本光電 AEDライフ

検索

AED救命手順



AED-3200の使い方動画

